

## 2.2.1 研究分野：森林・人間関係学

|      |           |       |
|------|-----------|-------|
| 構成員： | 准教授       | 松下 幸司 |
|      | 大学院博士後期課程 | 1 名   |
|      | 大学院修士課程   | 8 名   |
|      | 専攻 4 回生   | 5 名   |

### A. 研究活動（2009.4～2010.3）

#### A-1. 研究概要

##### a) 森林計画制度

森林計画に対する社会の要請は多様であり、また変化している。例えば、近年の大きな変化に、地球温暖化対策としての森林管理問題がある。このような現代的課題に対して森林計画制度、森林統計制度、森林調査体系をどのように設計すべきかに関する研究を行っている。

##### b) 森林経営及び森林計画にかかわる法規

森林は広い面積を占め、多くの公益と関係することから、森林経営及び森林計画にかかわる法制度の整備が必要である。森林法、森林・林業基本法、森林組合法、国有林野の管理経営に関する法律、入会林野等に係わる権利関係の近代化の助長に関する法律等の現状と課題に関する研究を行っている。

##### c) 持続可能な森林観光

保護林制度とは、国有林内において原始的な天然林等を保護するための制度である。保護林及びその周辺は、観光的価値も高い。また、風致保安林、保健保安林等は観光と密接な関係を持っている。このような地域における持続可能な森林観光のあり方に関する研究を行っている。

#### A-2. 研究業績（国内・国外含む）

##### a) 成果刊行

##### 報告書等

- ・松下幸司：森林所有者情報と森林計画．中日本入会林野研究会会報 30；58-59、201
- ・田口 標、松下幸司、宇野日出生：京都大原の山林文書（三）－御入木山における山林売買を中心として－．生物資源経済研究 15；94-126、2010

### A-3. 国内における学会活動など

#### 所属学会等（役割）

- ・ 松下 幸司：林業経済学会（評議員）、中日本入会林野研究会（編集委員長）

### B. 教育活動（2009. 4～2010. 3）

#### B-1. 学内活動

##### a) 開講授業科目（担当教員）

- ・ 全学共通科目： 基礎情報処理演習（松下）
- ・ 学部： 森林科学Ⅳ（松下一分担）、森林科学実習Ⅳ（松下一分担）、森林総合実習及び実習法（松下一分担）、森林計画学（松下）、森林法律論（松下）、専門外国書講読Ⅱ（松下）、森林科学演習（松下）、課題研究（松下）
- ・ 大学院： 森林経営学特論（松下）、森林・人間関係学専攻演習（松下）、森林・人間関係学専攻実験（松下）

#### B-2. 学外における教育活動

##### 学外非常勤講師

- ・ 松下 幸司：京都府立大学農学部（林政学Ⅰ、林政学Ⅱ）

### C. その他

- ・ 松下 幸司：滋賀県公共事業評価監視委員会（委員）、(財)京都府林業労働支援センター林業労働力育成協議会（委員）